

前提として

私は現在北海道に四人家族一世帯の一軒家に住んでおります。

家はオール電化且つ、自営業のため昼間も電気使用量は少なくありません。

また、電力会社は北電、プランは夜間の一定時間の電気料金が割安な代わりに、昼間の電気料金が割高なプランに加入しています。このプランの理由は、家が蓄熱暖房のため、夜間の電気使用量が多いと見込んでの加入です。20年ほど前に家を建てたときからプランの見直しをしていないため、最適かはわかりません。

現在、冬になり暖房の利用が増えてきている中ですが、ついの一ヶ月の電気代が10万円を超えました。昨年度と比較するとおよそ1.5倍になっています。北海道で生きていくにあたって、暖房などによる電気使用は避けられないものであり、そうした必要不可欠なライフラインに10万円以上の出費は家計としてかなり手痛い出費となっています。

最近の値上げ申請の報道、事前学習資料を受けて

正直なところ、これ以上の値上げは生活の維持が困難であり、心情としては「やめてほしい」としか表しようがありません。

近年、学生生活を過ごす中で家電やPC周りでの電気使用は欠かせないものです。まして、北海道、東北と言った寒冷地であれば、重複しますが水道よりも直接的なライフラインと言って差し支えありません。そうした中で、電気代を気にかけて、満足に使用できなくなる現状は満足な生活を送れているとは思えません。

ただでさえ、最近の電気料の値上げには辟易としている中で、これ以上の値上げが行われるとなると不安しかありません。冬期の電気使用はその多くが暖房によるものであり、生活に直結するものであるため、節電なども容易でなく、ただただ値上げを受け入れるしかないのが現状です。

資料を一見して、電力会社、政府としても苦心の上での値上げになっているのかと思います。その上で、各種想定、見積もりの明示要求や支援策などを考えている背景が見られて安心しました。

値上げ申請の理由としてあげられている燃料高騰は、すでに燃料調整費の高騰の形でわれわれの支出を増やしています。事実として、燃料調整費の上限にあたっていることは理解していますが、燃料高騰を理由にベースとなる電気料金を今以上の値上げ申請することの妥当性は明瞭に示していただきたいです。

ここ数年で、毎年のように電気代の高騰が言われる中、電気料金値上げの受け入れは継続的な値上げと同義に思えてしまいます。別の手段によって一時的な対応策であることを明確に示されるか、燃料費が下がった場合の電気料金値下げの仕組みはしっかりと明示していただきたいです。

加えて、各電力会社が想定する燃料費高騰に対しての解決策、及び、経営、或いは発電方法の効率化によつての解決の見込みについても具体的に示されることを期待します。

また、このことについては電力会社と消費者のみの問題とするのではなく、国・地域として補助や補填を考えていただけると幸いです。

一方で、費用負担のみでなく、電源構成についても火力依存の現状は概ね把握していますが、その対策として再生可能エネルギーをただ導入するのではなく、具体的な導入による電力量や電気料金の数値試算を出した上で、電気料金高騰の改善に向けた早急な取りかかりに期待します。

まとめ

現在の電気料金は我が家では月に10万円を超え生活を大きく圧迫するものとなっています。要因として燃料費の高騰という外因的なものであることは理解しながらも、ライフラインとして、生活を困らせないものであるような努力を電力会社と行政が行うことを期待します。

また、燃料費高騰がいつまで続くかわからない以上、化石燃料に依存しない発電を考えるとともに、金銭的な補助や代替案を示されることが望ましく思います。同様に、燃料費の高騰が終わった先も見据え、値上げが一方的に行われ、値下げが起こりえないような「上げ得」のような仕組みにはならないでいただきたいと存じます。

以上、拙文にはなりますが、私の考える電力会社規制料金の値上げ及び、その関連資料を見ての意見となります。くれぐれも消費者や電力会社が、無知なままに一方的に割を食うということにはならないことを願います。